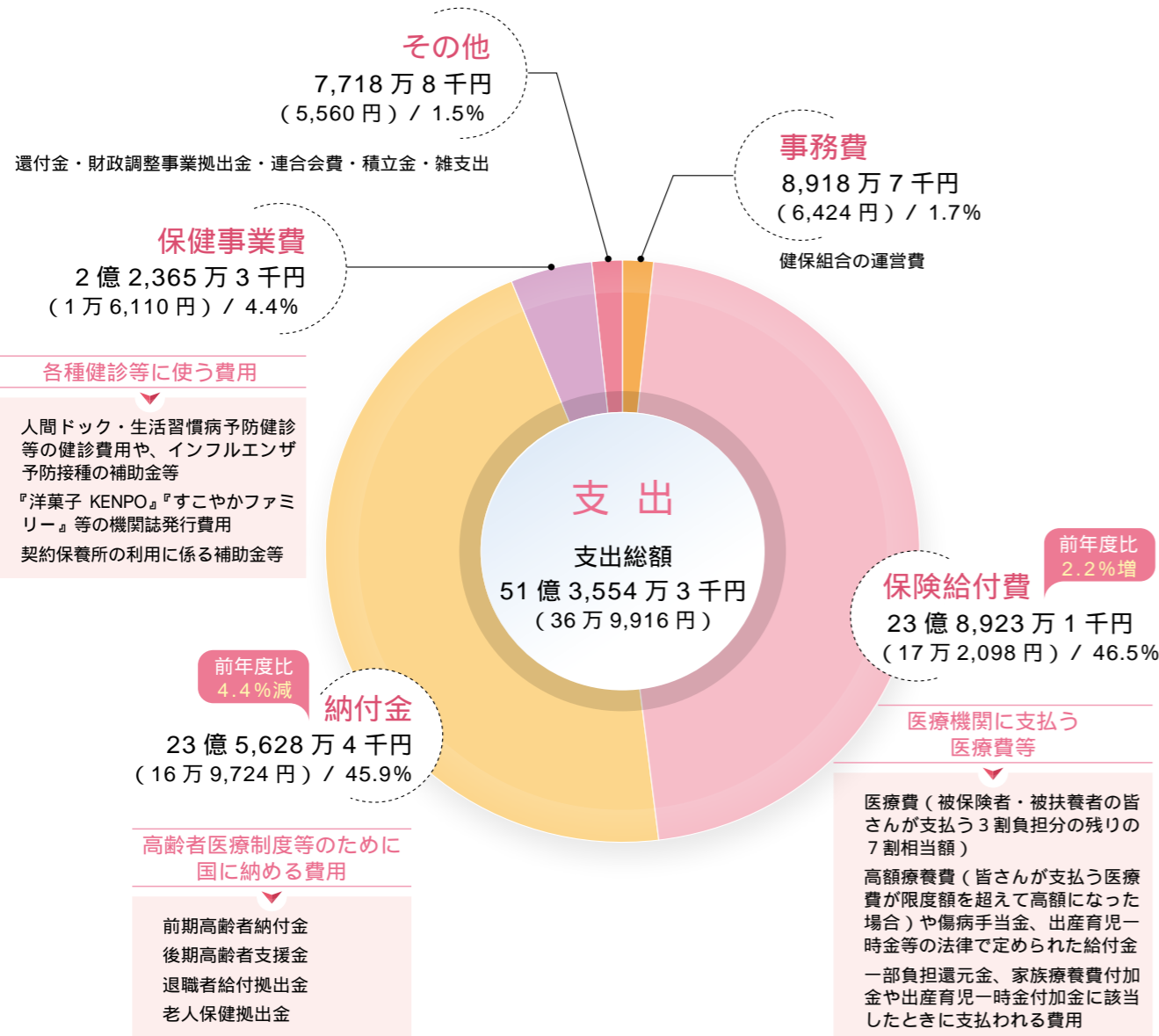


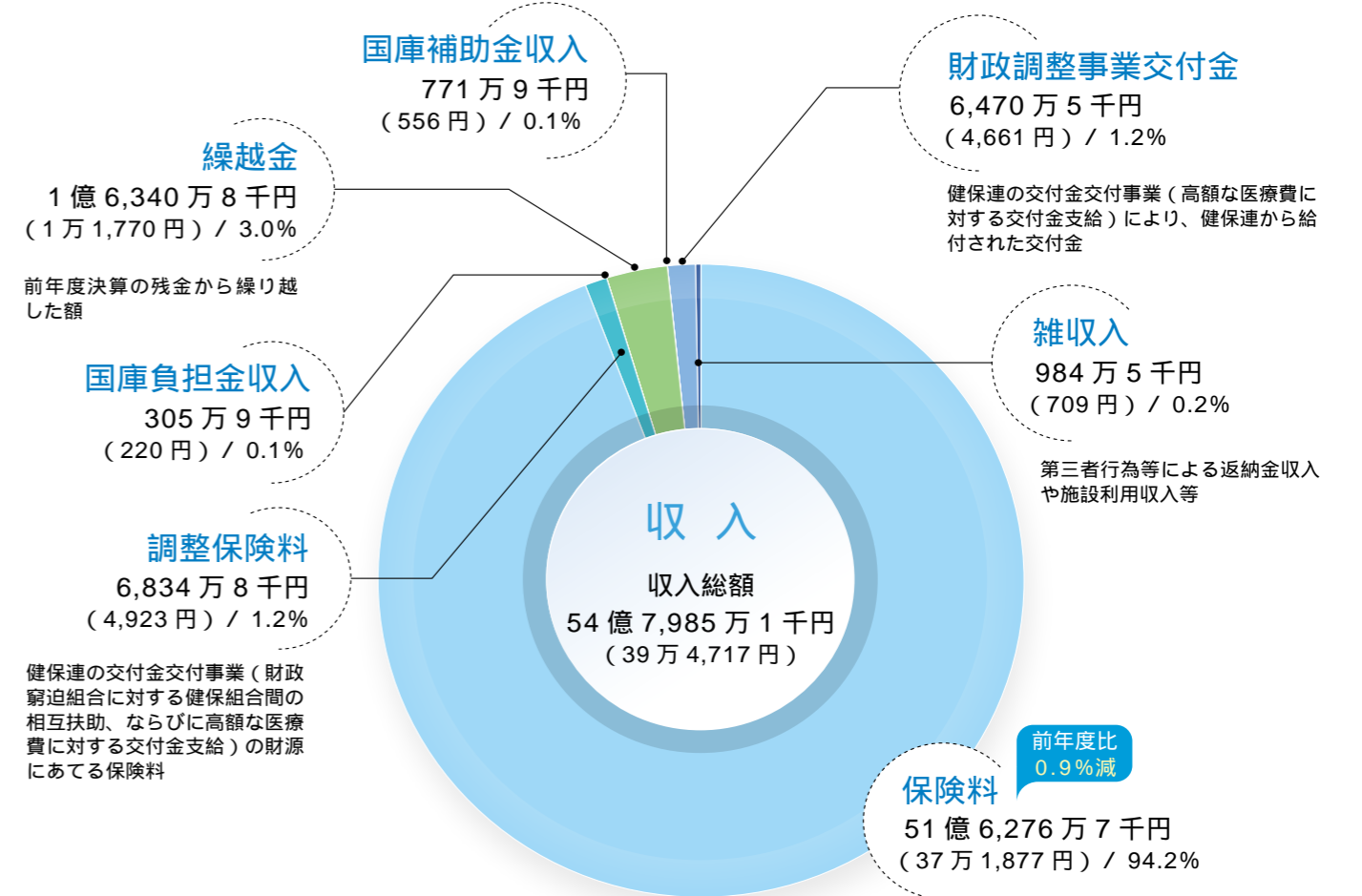
納付金が減少に転じ黒字となるも、今後も厳しい財政運営が続く見通しです

当健康保険組合の平成26年度決算が、さる7月3日に開催された組合会で承認されました。

収入総額	54億7,985万1千円 (経常収入 51億6,883万4千円)
支出総額	51億3,554万3千円 (経常支出 50億6,747万3千円)
決算残金	3億4,430万8千円 (経常収支差引額 1億136万1千円)



()内は「被保険者1人当たり額」 / %は「総額に対する割合」



介護勘定

健保組合では、国に代わって40歳から64歳の被保険者より介護保険の保険料を徴収し、国に納付しています。

平成26年度の介護保険収入4億4,001万円に対し、介護納付金4億2,845万円となりました。前年度からの繰越金等も含め、4,071万円の決算残金が生じ、全額を次年度への繰越金として処理しました。

収入		
科目	決算額(千円)	介護保険第2号被保険者1人当たり額(円)
介護保険収入	440,010	80,529
繰越金	29,117	5,329
雑収入	89	16
合計	469,216	85,874

支出		
科目	決算額(千円)	介護保険第2号被保険者1人当たり額(円)
介護納付金	428,445	78,412
介護保険料還付金	66	12
合計	428,511	78,424

非常に厳しい状況が続くとみられています。当組合といたしましては、引き続き事業の効率化に努めるとともに、皆さんの健康維持をサポートするための健診や特定保健指導などの疾病予防事業を積極的に展開してまいります。皆さんが健康を維持されることが医療費の増加を抑制し、当組合の財政安定化にもつながります。皆さんにおかれましては、必ず年に1回健診を受診し、健康維持に役立てていただきますようお願いいたします。

当組合の平成26年度決算は、収入総額54億7,985万円、支出総額51億3,554万円となり、収支差引で3億4,431万円の残金が生じ、実質的な収支状況を示す経常収支差引では1億1,360万円の黒字となりました。

収入面では、保険料は前年度比4,900万円(0.9%)減の51億6,277万円となりました。

一方、支出面では、皆さんの医療費にあてられる保険給付費が前年度比5,245万円(2.2%)増の23億8,923万円、高齢者医療制度への財源として国(支払基金)に拠出する納付金が前年度比1億9,399万円(4.4%)減の23億5,628万円となりました。

決算残金は、準備金4,455万円および次年度への繰越金2億9,976万円として保有し、今後見込まれる支出の増加に備えます。

当組合では、毎年増加傾向にあった納付金が減少したことで、26年度は幸い黒字の決算となりましたが、納付金が保険料に占める割合は45.6%と依然として重い負担となっております。

また、27年度の健保組合の予算集計(速報値)によりますと、健保全体の赤字総額は1,429億円に上り、高齢者医療制度が創設されて以来、8年連続の大幅赤字となる見込みであることが明らかになりました。健保組合の財政難の主因である納付金は、高齢者医療制度導入前の19年度と比べて27年度は約1兆円の増加が見込まれていますが、今後も団塊の世代の後期高齢者への移行などに伴う高齢者医療費の増大により、健保組合の負担が増すことが確実視されていて、健保財政は

ご自身やご家族の健康について、
医師に無料で相談できます

健康相談室のご案内

当組合では、月に2回、医師による健康相談を行っております。
ご自身やご家族の健康について気になることがございましたら、内科医師にご相談いただけます。



- 健康相談室について**
 - 健康結果や気になる症状について、内科医師にご相談いただけます。
 - 産業医の資格もあるので、労働安全衛生面での相談も可能です。
 - 相談室にお越しただけの場合は、利用時間内であれば電話による相談も可能です。
- 対象者**
 - 当組合の被保険者・被扶養者
- 開設時間**
 - 第2・第4週の水曜日 13時30分～16時30分
- 利用方法**
 - お電話でご予約ください。
 - お名前と、健康相談室の予約であることをお申し出ください。
 - 03 3949 3001
- 費用**
 - 無料です。
- 検査**
 - ご希望により、血液検査と尿検査を行います。
- 過去の相談内容**
 - 健康結果の見方がわからない
 - 健康結果を改善させるためのアドバイスがほしい
 - 気になる症状についての相談
 - 病気について詳しく知りたい
 - 病院にかかりたいが何科にかければよいかかわらない
 - すでに通院中だが、他の先生の意見が聞きたい(セカンドオピニオン)についての相談、病院の紹介(など)

日本人の食事摂取基準(2015年版)

ナトリウム 食塩相当量 の目標値が 男性 8g、女性 7gに

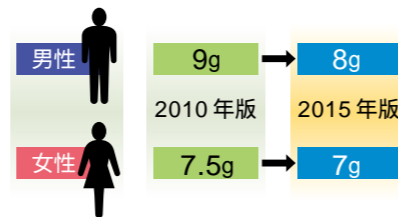
話題の健康情報

5年に一度見直される食事摂取基準が2015年4月に改定され、1日当たりの食塩相当量の目標値が削減されています。健康のために、今よりもっと減塩することが大切です。

5年前より男性 1g、女性 0.5g 低い基準に

食事摂取基準は、健康増進や生活習慣病予防のために望ましいエネルギーや栄養素の量の基準を示すものです。塩分の摂りすぎは高血圧症など生活習慣病の危険因子であり、改定のたびに塩分の目標値は削減されています。2015年版では、1日当たりの食塩相当量の目標値(18歳以上)が、男性は9g未満から8g未満に、女性は7.5g未満から7g未満に引き下げられました。

食塩摂取量の目標値改定



実際は塩分オーバーの人がほとんど。少しずつ減塩を

国民健康・栄養調査(平成25年)によると、日本人の食塩摂取量の平均は男性11.1g、女性9.4gであり、減少傾向にはあるものの目標値とはかけ離れているのが現状です。なお、WHO(世界保健機関)では食塩摂取目標を1日5g未満としています。

減塩していく努力をしましょう。ラーメンやうどん、そばなどのスープは残す、しょうゆやみそ、ソースなどの調味料を控える、だしや辛味、酸味、スパイスなどを利かせて薄味でもおいしく調理するなど、できることから取り入れて続けていくことが、生活習慣病の予防につながります。

受診状況

受診率、被保険者微減・被扶養者微増

被保険者は対象者13,854人に対し、受診者12,028人で受診率86.8%、被扶養者は対象者2,451人に対し、受診者967人で受診率39.5%でした。

ここ数年、被扶養者の受診率は徐々に増加しておりますが、4割に満たない低い水準には変わりありません。30歳以上の被扶養者の方は無料で健診が受けられますので、1年に1度健診をご受診ください。受診方法などについては、当組合にお気軽にお問い合わせください。

また健保組合には、40歳以上の方を対象とした特定健診(人間ドック含む)の実施が国から義務づけられており、平成29年度における特定健診の目標受診率は85%と定められております。

積極的に健診をご受診いただき、受診率の向上にご協力くださいますようお願いいたします。

健診区分	対象者		受診者(人)	受診率(%)		
	年齢	人数		本年度	前年度	
被保険者	一般健診	30歳未満	4,247	3,500	82.4	83.6
	生活習慣病予防健診	30歳～39歳	3,829	3,444	90.0	89.9
	特定健診	40歳以上	5,778	4,281	74.1	74.8
	人間ドック			803	13.9	15.6
	小計			5,084	88.0	90.4
合計		13,854	12,028	86.8	88.1	

健診区分	対象者		受診者(人)	受診率(%)		
	年齢	人数		本年度	前年度	
被扶養者	生活習慣病予防健診	30歳～39歳	814	302	37.1	36.4
	特定健診	40歳以上	1,637	620	37.9	36.3
	人間ドック			45	2.8	2.9
	小計			665	40.6	39.2
合計		2,451	967	39.5	38.3	

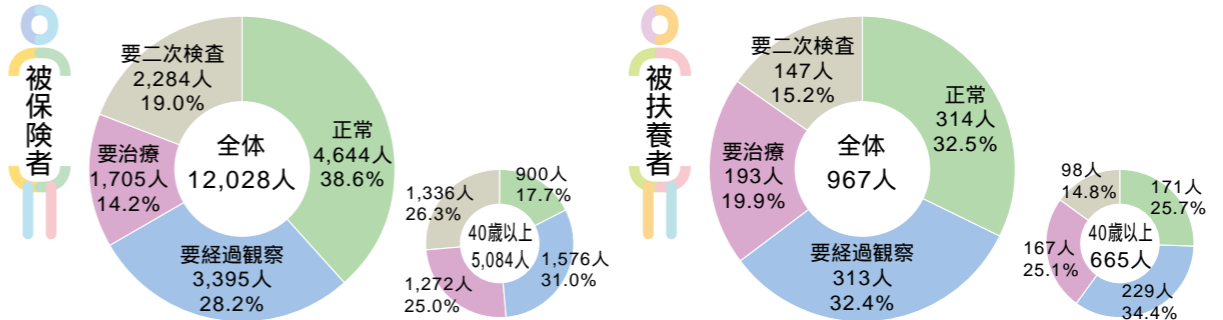
判定結果

平成26年度も“正常と判定された方”は4割に満たず

被保険者・被扶養者ともに正常と判定された方は、4割を下回っております。40歳以上では、正常と判定された方は2割程度と更に低い結果となっております。

健診は、生活習慣を見直すきっかけとなったり、受診前後には健康に対する意識が高まるきっかけにもなります。健診を受診することだけを目的とせず、健診結果を健康的な生活に役立てることを意識してみてください。

また、健診結果で「要治療」「要二次検査」と判定された方は、医療機関で治療や二次検査をご受診ください。生活を脅かす病気の早期発見・早期治療につながるかもしれません。



年齢別の疾病順位

性別や年齢を問わず、今年も脂質異常症が上位を占めています!!

脂質異常症は、主に高脂肪の食事や運動不足などの不健康な生活習慣が原因です。食生活に気をつけ、積極的に運動するなど健全な生活習慣を意識することで、脂質異常症の改善や予防をすることができます。

脂質異常症以外の上位疾病の多くも、生活習慣が大きく関わる疾病です。

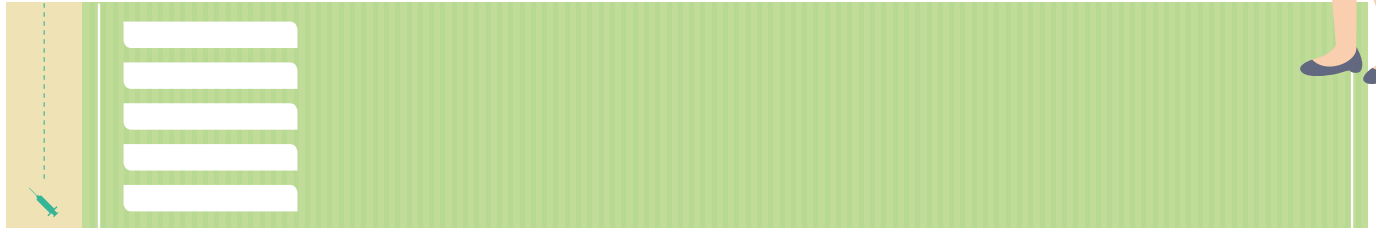
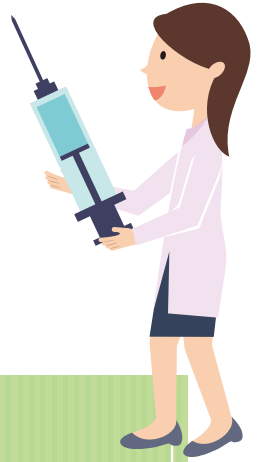
1年に1度の健診をきっかけに、生活習慣を見直し、健康を手に入れるきっかけにしましょう。

当組合では健康相談も行っておりますので、健康に関する気になることがございましたらお気軽にお問い合わせください(次ページ参照)。

26年度	男性			女性		
	1位	2位	3位	1位	2位	3位
30歳未満	脂質異常症	尿酸	肝機能障害	貧血	脂質異常症	血液一般
30歳代	脂質異常症	肝機能障害	尿酸	脂質異常症	貧血	腎・泌尿器疾患
40歳代	脂質異常症	肝機能障害	血圧異常	脂質異常症	貧血	腎・泌尿器疾患
50歳代	脂質異常症	血圧異常	糖尿病	脂質異常症	血圧異常	腎・泌尿器疾患
60歳以上	血圧異常	脂質異常症	糖尿病	脂質異常症	血圧異常	糖尿病



今年もインフルエンザ予防接種に 補助金を支給します



[]

--	--



[]

--	--

